



申6号 2020年度年末手当等に関する申し入れ団体交渉を行う! ③

悩みながら奮闘する組合員に報いるため以下の視点で主張しました!

組合 組合員・社員の幸福実現に向けて

- ・組合員と危機感を一致するため緊急提言を提出し議論してきた。黒字経営に向けて一人ひとりが実践することを議論している。
- ・どのような変化に対応するにしても「人」はかせない。その雇用と生活を守っていく必要がある。
- ・変革のスピードを上げるには、雇用と生活を守ることを前提に、人材流出を防ぎ、今こそモチベーションを向上させることが必要だ!

組合員・社員のモチベーション向上に向けて

- ・目の前の生活に対する不安もあるが、将来どうなってしまうのかという声も少なくない。この間、様々な施策等に向き合い堅調な経営をつくり出してきた。
- ・今も仕事の質を落とさずに懸命に働いている。苦しい今だからこそ「ヒト」に投資するべき。

- ・これから先の会社を考えれば社員の成長は緩めず、取り組まなければならない。成長の期待をしているということである。

会社

組合 新型コロナウイルス感染症対応に対する特別手当について

- ・夏季手當時でも議論したが、命がけで業務にあたってきている現状は変わっていない。新型コロナウイルス感染症対応に対する手当がなく、全系統で出来る努力をしてきたことに対して一律5万円を求めている。
- ・新型コロナウイルスのような感染症が再発する可能性はある。夏季手當時は状況によって検討したいとあった。特殊な環境下の業務に対する手当を見直していく必要があると考える。
- ・安心感を伝える意義が伝わらないまま取り組みが進み、組合員が不安になっていることもある。その中でも今まで以上に工夫して感染予防を行い、さらに万全な予防策はないかと、感染予防とお客さまに安心してご利用いただくために日々努力している。

交渉の最後に強く要請!

・ポイントやベースになるのはコロナ禍における激変の中でも収益を確保しているのは、組合員・社員のたゆまぬ努力の結果であること。JR東労組は現状認識を踏まえ、安全を前提に健康の確保、雇用確保を第一に建設的に議論してきた。

- ・今後社会が変化しても価値を見出すために、人の力が必要なのは変わらない。変化への対応の中で、労働の質が高まり、サービスの質が高まる。今後も高まるのは間違いない。
- ・会社の持続的成長のためにも赤字コロナ禍で奮闘する社員の雇用を確保し、そのスタンスを明確に打ち出すべきだ。生活を守り、人材流出を防ぐために、成長投資が必須であるのは今交渉で明かになった。不安、閉塞感が渦巻く中で、明るい展望を見出し、グループ会社全体を牽引するために満額回答を強く要請する!



会社

社員の成長が欠かせない。人だからこそ成長していく。大変厳しい状況を踏まえて、しっかりと人が成長できるように会社としてやっていきたい。今日の議論を踏まえて検討に入りたい。

要求を実現するために緊急提言を職場から実践しよう